

保育士試験 「子どもの食と栄養」 過去問分析 出題予想（傾向と対策）

はじめに 試験問題の解答には文章や文脈による“流れ”をつかむことが大切です。以下の文章に何度も同様の表現が出てきますがご理解ください。ケアレスミスは「分かった！！」と思った瞬間に問題を全部読むことを中止したり、読み返すことをしなかったりするために発生するケースが多いのです。とくに事例は日常の経験から解答できる問題がほとんどといっても過言ではありません。試験は受験して合格するだけでなく保育についての必要な知識が自然と理解できるので、勉強していても充実した気持ちになります。当然合格した時の達成感と言うまでもありません。

1. 解答形式 過去 100 問中

○×形式 60 正しい・不適切一つ選択 28 () 形式 10 その他 2

○×は絞り込み 組合せは文章をよく読み文脈で 不適切問題はよく読んで確実に ※○×と () の解答形式が多いということは、文章の量が多いということ。よく読まなければ正解につながらないし、限られた時間の中では前半に時間をかけると、後半に考える時間が取れなくなり、集中力にかけてしまう。出題もそれを狙ってか、前半に迷わせる出題が集中している。後半は比較的判りやすい問題もあるので、判るところをどんどん解答してしまおう。以前は事例が多く、読めさえすれば正解につながる問題もあったが、最近ではそのような問題は少なくなっている。問題用紙に解答を控える際の注意点は、その控えた解答番号をマークシートに一度に書き写すとずれてたいへんなことになる場合があるということ。できれば番号を確認しなら 2、3 問ごとに解答を書き写されることをお勧めする。

2. 6 割 12 問 (10 問出題は 6 問) 得点のための出題出所内訳 (キーワード)

傾向 栄養素 炭水化物 (糖類の表) 脂質 タンパク質 無機質 ビタミン 水分
必要とするエネルギー量 (表)
乳児期 離乳期 幼児期 学童期 成長と食事 食育 心身の発達
ミルクの種類 (最近の話題は液体ミルク)
食中毒 (主な菌) アレルギー アレルゲン
障害のある子どもの食生活

3. 科目としての難易度

子どもの保健と同じく生活に密着した科目でテキストを読み込んでも実感がある。カロリーや糖、ビタミン、アレルギーと身近な生活の中で役に立つことばかりなので、自分のことと思って体のあらゆるところにビタミンやアレルギーなどをイメージで張り付けてみてください。

ご注意：この出題予想で試験が合格できるわけではありません。受験する人のモチベーションアップに貢献することで、受験勉強をより楽しく、効率的にしたいという思いで作成しています。

参考テキスト

「保育士 完全合格テキスト 上・下」翔泳社

参考サイト

参照法令